

特殊車両の出動（能登半島）



昨年の1月に発生した能登半島地震での給油活動が今現在も続いています。

現場は、2回目の冬を迎えました。豪雨災害加え、全国的に大雪傾向にあり、能登半島も例年をはるかに越す豪雨と積雪に見舞われています。豪雨と積雪のため、携行缶を持って現地まで歩いていくことが困難な場所でも特殊車両（バギー）を活用して現場に向かうことも始まりました。

以前であれば、給油が難しい場面でも給油が可能になり、停電をさせないという思いと現場での多くの経験を活かし、今後も被災地での給油活動は色々な選択肢をもって、行うことになります。



浸水対策のススメ

近年、ゲリラ豪雨という言葉が聞きますよね。短時間で増水してきて建物が浸水してしまうことがあります。なかなか、すぐに対応できないことも多いでしょうが、それなりの準備をしておけば、大切なものを浸水から守ることができます。

最近、「止水板」が注目を集めています。まずは、ご自身の周りに浸水のリスクがないか確認してみてください。

専門家に聞く

洪水時の災害の防止には、昔から土のう袋がよく使われてきました。しかし、実は土のう袋を上手に利用するには、いくつかのコツが必要です。例えば、土を詰めすぎると重くなり作業性が低下します。しかし、最大の問題は現代の都市では土が容易に手に入らないことです。このため、浮力に負けない土のう、変形性能に優れた水のう、広い範囲を止水できる止水板などをうまく組み合わせて活用することが重要です。施設の状況に応じて、きちんと止水できるように普段の準備と訓練が大事です。

（関西大学社会安全学部 教授 一井 康二）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら



当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します